



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社

コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 育嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 河野 隆志

TEL 078-265-3000

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

平成26年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	378,618	9.5	35,091	18.0	35,052	26.5	21,845	41.1
25年12月期第2四半期	345,886	3.6	29,729	△7.9	27,716	△8.6	15,479	△5.7

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 13,584百万円 (△71.9%) 25年12月期第2四半期 48,300百万円 (135.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	83.28	—
25年12月期第2四半期	59.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	831,431	364,064	40.4	1,279.34
25年12月期	867,464	358,844	38.0	1,257.26

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 335,603百万円 25年12月期 329,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	25.00	40.00
26年12月期	—	20.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	7.6	84,000	9.0	81,000	8.6	49,000	9.4	186.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名)

Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.S.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	263,043,057 株	25年12月期	263,043,057 株
26年12月期2Q	717,942 株	25年12月期	715,318 株
26年12月期2Q	262,326,467 株	25年12月期2Q	262,331,659 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社の連結財務諸表に記載される科目及びその他の事項の金額は、従来、表示単位未満を切り捨てて記載しておりましたが、当連結会計年度より表示単位未満を四捨五入して記載しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても四捨五入に組み替えて表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	378,618	345,886	9.5
タイヤ事業	329,078	297,787	10.5
スポーツ事業	32,692	32,731	△0.1
産業品他事業	16,848	15,368	9.6
営業利益	35,091	29,729	18.0
タイヤ事業	31,578	26,329	19.9
スポーツ事業	1,419	2,345	△39.5
産業品他事業	2,086	1,048	99.1
調整額	8	7	—
経常利益	35,052	27,716	26.5
四半期純利益	21,845	15,479	41.1

## 為替レートの前提

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	102円	96円	6円
1ユーロ当たり	140円	126円	14円

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）の世界経済は、米国では緩やかな景気回復が持続しており、欧州でも景気持ち直しの動きが継続して見られるようになりました。新興諸国においてはアセアン地域やインドなど一部の地域で弱さが見られるものの、緩やかながら拡大を続ける中国を中心に総じて安定的な経済成長が続いており、世界経済全体としては、引き続き緩やかな景気回復基調で推移しました。

わが国経済につきましても、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、その影響も和らいできており、緩やかな景気回復基調が継続しました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、天然ゴム相場が引き続き低位で安定的に推移したことに加えて、為替の円安による輸出環境の改善がありました。海外市販市場における競合他社との競争が激化するなど、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020」の実現を目指し、事業の成長と収益力の向上に向けて様々な対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結売上高は378,618百万円（前年同期比9.5%増）、連結営業利益は35,091百万円（前年同期比18.0%増）、連結経常利益は35,052百万円（前年同期比26.5%増）、連結四半期純利益は21,845百万円（前年同期比41.1%増）と、増収増益を達成しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (タイヤ事業)

タイヤ事業の売上高は、329,078百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は31,578百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

国内市販用タイヤは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生し、業界需要が前年同期を上回るなか、その需要を取り込んで販売を伸ばしました。ダンロップブランドで低燃費性能に「長持ち」という新たな価値を加えた、第2世代のスタンダード低燃費タイヤ「エナセーブ EC203」を発売し、順調に販売を拡大するなど、販売構成の改善に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

国内新車用タイヤは、消費税率引き上げ後も自動車生産台数が前年同期を上回るなか、低燃費タイヤを中心とする高付加価値タイヤの納入拡大により販売数量が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、各国市場において販売を伸ばしましたが、競合他社との価格競争が激化しており、金額面では厳しい状況で推移しました。一方で、為替は円安で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤは、生産拠点を有するタイでは政情不安などによる景気の低迷により販売数量が減少しましたが、拡大を続ける中国市場においては大幅に販売を伸ばしたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上高は前年同期を上回りました。

## (スポーツ事業)

スポーツ事業の売上高は、32,692百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,419百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

国内市場は、2月の降雪などの天候悪化や、4月からの消費税率引き上げの影響などにより市況が悪化し、厳しい状況で推移しました。海外市場においても、悪天候などの影響により米国市場が前年同期を下回ったほか、東南アジア諸国や韓国の市況にも停滞感が広がるなど、厳しい状況で推移しました。

このようななか、国内市場においては、昨年12月に発売しましたゴルフクラブの主力商品「ゼクシオ エイト」が順調に販売を伸ばし、昨年に業務提携契約を結んだ株式会社アシックス製のゴルフシューズ販売も好調なスタートを切ったため、国内販売全体としては前年同期を上回りました。

海外市場においては、主力商品「ゼクシオ エイト」の販売を米国などでも開始し、拡販に努めましたが、世界的な市況の冷え込みにより海外販売全体としては前年同期を下回りました。

以上の結果、スポーツ事業の売上高は前年同期並みとなりました。

## (産業品他事業)

産業品他事業の売上高は、16,848百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は2,086百万円（前年同期比99.1%増）となりました。

住宅用制震ユニット「MIRAI E[ミライエ]」を拡販したことに加えて、スポーツ専用ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフ」などの商品も販売を伸ばしました。

以上の結果、産業品他事業の売上高は前年同期を上回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	831,431	867,464	△36,033
純資産	364,064	358,844	5,220
(うち自己資本)	(335,603)	(329,813)	(5,790)
自己資本比率 (%)	40.4%	38.0%	2.4P
1株当たり純資産	1,279円34銭	1,257円26銭	22円08銭

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

資産の部は、設備投資に伴い有形固定資産が増加した一方、季節要因による売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べて36,033百万円減少し、831,431百万円となりました。

負債の部は、仕入債務や有利子負債残高の減少などにより、前連結会計年度末に比べて41,253百万円減少し、467,367百万円となりました。

純資産の部は、配当金の支払いや円高による為替換算調整勘定の減少の一方、四半期純利益21,845百万円の計上などにより、前連結会計年度末に比べて5,220百万円増加し、364,064百万円となりました。その結果、自己資本比率は40.4%となり、前連結会計年度末に比べて2.4ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の利益は、原材料価格の変動などにより当初計画を上回って推移しておりますので、平成26年12月期第1四半期決算発表時(平成26年5月8日)には見直しを行っていなかった下期の連結業績予想の見直しを行い、通期の連結業績予想を下記のとおり変更しております。

通期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	今回修正予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前年同期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	840,000	840,000	—	—	780,609
タイヤ事業	735,000	735,000	—	—	681,100
スポーツ事業	67,000	67,000	—	—	66,260
産業品他事業	38,000	38,000	—	—	33,249
営業利益	84,000	83,000	1,000	1.2	77,055
タイヤ事業	75,500	74,500	1,000	1.3	69,850
スポーツ事業	4,500	4,500	—	—	3,992
産業品他事業	4,000	4,000	—	—	3,205
調整額	—	—	—	—	8
経常利益	81,000	78,000	3,000	3.8	74,582
当期純利益	49,000	47,000	2,000	4.3	44,794

為替レート的前提

	今回修正予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前年同期実績
1米ドル当たり	101円	101円	—	98円
1ユーロ当たり	138円	136円	2円	130円

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断にもとづいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
第1四半期連結会計期間において増資したことにより、Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.Ş. は特定子会社となりました。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,441	43,535
受取手形及び売掛金	198,189	157,333
商品及び製品	79,834	93,835
仕掛品	6,159	6,569
原材料及び貯蔵品	44,433	41,063
その他	38,372	30,956
貸倒引当金	△1,945	△1,740
流動資産合計	407,483	371,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,855	90,902
機械装置及び運搬具(純額)	132,242	129,935
その他(純額)	94,878	99,076
有形固定資産合計	316,975	319,913
無形固定資産		
のれん	8,827	8,001
その他	18,056	18,060
無形固定資産合計	26,883	26,061
投資その他の資産		
投資有価証券	69,589	68,278
その他	47,499	46,593
貸倒引当金	△965	△965
投資その他の資産合計	116,123	113,906
固定資産合計	459,981	459,880
資産合計	867,464	831,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,741	63,978
1年内償還予定の社債	20,000	—
コマーシャル・ペーパー	11,000	—
短期借入金	78,719	73,685
1年内返済予定の長期借入金	37,339	30,800
未払法人税等	10,437	6,718
引当金	7,581	5,752
その他	71,369	56,767
流動負債合計	313,186	237,700
固定負債		
社債	45,000	65,000
長期借入金	104,588	118,518
退職給付引当金	13,959	14,068
その他の引当金	112	118
その他	31,775	31,963
固定負債合計	195,434	229,667
負債合計	508,620	467,367



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	38,661	38,661
利益剰余金	224,681	239,880
自己株式	△551	△555
株主資本合計	305,449	320,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,521	11,937
繰延ヘッジ損益	164	43
為替換算調整勘定	31,677	20,124
在外関係会社の年金債務調整額	△18,998	△17,145
その他の包括利益累計額合計	24,364	14,959
少数株主持分	29,031	28,461
純資産合計	358,844	364,064
負債純資産合計	867,464	831,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	345,886	378,618
売上原価	217,766	234,587
売上総利益	128,120	144,031
販売費及び一般管理費	98,391	108,940
営業利益	29,729	35,091
営業外収益		
受取利息	438	746
受取配当金	269	345
持分法による投資利益	—	1,919
デリバティブ評価益	2,085	—
その他	980	1,226
営業外収益合計	3,772	4,236
営業外費用		
支払利息	2,466	2,318
為替差損	1,174	399
持分法による投資損失	1,208	—
その他	937	1,558
営業外費用合計	5,785	4,275
経常利益	27,716	35,052
特別利益		
固定資産売却益	579	—
特別利益合計	579	—
特別損失		
固定資産除売却損	293	304
減損損失	51	21
特別損失合計	344	325
税金等調整前四半期純利益	27,951	34,727
法人税等	10,361	11,236
少数株主損益調整前四半期純利益	17,590	23,491
少数株主利益	2,111	1,646
四半期純利益	15,479	21,845

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,590	23,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,596	410
繰延ヘッジ損益	△336	△121
為替換算調整勘定	23,901	△10,121
在外関係会社の年金債務調整額	29	37
持分法適用会社に対する持分相当額	3,520	△112
その他の包括利益合計	30,710	△9,907
四半期包括利益	48,300	13,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,057	12,440
少数株主に係る四半期包括利益	3,243	1,144

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	297,787	32,731	15,368	345,886	—	345,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	170	55	231	△231	—
計	297,793	32,901	15,423	346,117	△231	345,886
セグメント利益	26,329	2,345	1,048	29,722	7	29,729

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	329,078	32,692	16,848	378,618	—	378,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	190	7	203	△203	—
計	329,084	32,882	16,855	378,821	△203	378,618
セグメント利益	31,578	1,419	2,086	35,083	8	35,091

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。